

現代日本論基礎講読「研究法入門」(東北大学文学部 2013年度 4セメスタ)

第5講 本を読む (2): キーワードとパラグラフ (10/29)

田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 キーワードを抜き出す

教科書 p. 86

- その本のなかで重要そうな単語や句
- 意味と用例
- 専門用語か; どの分野で使うことばか
- 類似語との異同
- ほかのキーワードとの関連

章ごとに3つ以上抜き出してみる

2 段落

学術的な文章では、段落 (paragraph) が基本的な構成要素となる

- 通常、ひとつの段落にひとつの主題 →キーセンテンスを見つける (最初にあることが多い)
- 段落をいくつか組み立ててひとつのセクションができる →セクション内で最重要の段落はどれか?
- 段落がうまく構成されているとは限らないので注意

3 読書から読みとること

- その本の主張したいこと
- 自分の研究にとって役に立つこと

研究が進むにしたがって、後者の比重が大きくなる。

4 書店実習

東北大学大学生協文系書籍店で本を探す実習

[9:50] 文系書籍店に移動 → 好きな本を各自探す

[10:20] 授業終了

まず、店内の全体を回って、どのような配置になっているかを把握すること(おおむね、分野別の本が左側、新書や文庫が右側に配置されており、雑誌のコーナーが真ん中にある)。

自分の興味のある本を適当にさがす。手に取って、立ち読みしてよい。よさそうな本については、奥付を見て書誌情報を控える。

- 内容の見当を短時間でつけるには、どう読めばよいか? → 目次、前書き、あとがき、索引、参考文献の活用

静かに、節度を守って探索すること

5 次回予定

つぎのものを持ってくること

- 自分が興味をもった本の書誌情報のメモ
- できれば現物入手(買うか図書館で借りる)
- 現物入手できた場合、その本の目次部分と奥付を1枚にコピーしたもの(前と同じ方式: A3などの大きな用紙に、余白をじゅうぶんにとってコピーする)2部

今日の実習は20分間しかないので、各自で空き時間に探しておくこと。

なお、東北大学附属図書館の所蔵は、つぎのURLで検索できる。

[フルブラウザ用] <http://www.library.tohoku.ac.jp/opac/>

[モバイル機器用] <http://www.library.tohoku.ac.jp/iecats/>

ただし、所蔵場所によっては、すぐには入手できないこともある。